



持てる全ての「力」を合わせて



①②変形や施錠などにより扉が開かない場合はエンジンカッターや充電式切断機等を駆使し、最良の方法で消防隊の進入路を確保する。③震災時の倒壊建物等からの救出時には電動ハンマーで壁に直接穴を開けることも。④閉じ込められた要救助者の状況に応じて様々な資器材を使い分け、迅速に救助する。

淀川区内の建物で行われた訓練に密着!!



⑤火災を想定した訓練では建物内に煙を充満させ、更に呼吸器のマスクにはあえて見えにくくなるようにシールドを貼付け、実際の火災現場と同じ状態にする。⑥隊員達に与えられた情報は「出火階層数と要救助者の人数」のみ。視界が封じられた建物内で隊員達は手探りで奥へ進みながら状況を判断し、要救助者のもとに駆けつける。⑦無事に救助を完了した後も先輩隊員からの厳しいアドバイスを熱心に聞き、次の訓練に挑む。



訓練当日は、あいにくの雨模様。しかし、災害は天気も条件も選ばせてくれない。要救助者(助けを求める人)がどのような状況に置かれていても、隊員達にはあらゆる「力」を駆使して突破口を開き、救助することが求められる。様々な資器材を使いこなす「技術力」、状況により最善の一手を下す「判断

力」、迅速な活動を維持する「気力・体力」、絶対にあきらめない強じんな「精神力」。そして、常に危険と隣り合わせの現場で苦難を共に乗り越えてきた隊員達の間で育まれる「団結力」。来たる時に持てる全ての「力」を合わせて区民の生命を守るために今日も厳しい訓練に挑んでいく。



▲区内には淀川消防署と3か所の出張所がある。

淀川消防署からのお願い 「11月9日は119番の日」

もし要救助者を発見された時は
勇気をもって通報を!!

「声掛けしたら返事があった」「出血があります」。このように誰にも分かる情報でも救急隊員のその後の対応において非常に有益な情報となります。通報と合わせて情報提供をお願いします。

毎年11月9日から15日は 「秋の火災予防運動」期間です!!

これからの季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分ご注意ください。淀川消防署では、様々な防火・防災等の訓練や講習会などを地域で実施することにより地域防災力の向上に努めています。詳細はホームページにてご確認ください。

淀川消防署
木川東4-10-12
☎6308-0119(代表)

